

# 「看護職のワーク・ライフ・バランス推進 カンゴサウルス賞」を受賞しました

看護部長 **神田 真理子** (かんだ まりこ)

公益社団法人日本看護協会主催「第4回 看護職のワーク・ライフ・バランス(WLB)推進 カンゴサウルス賞」受賞式が、東京(青山ダイヤモンドホール)で5月25日に開催され、当院が『カンゴサウルス賞』を受賞しました。

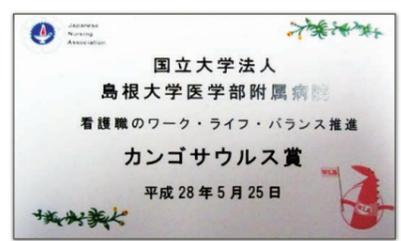


「カンゴサウルス」はWLBナビゲーターです。恐竜は長い間栄え、そして絶滅しました。しかし、環境の変化に適応した仲間は、鳥類として生き残っているとされています。「カンゴサウルス」は、<繁栄>と<変革>のシンボルとして、幸せをもたらすためのものという思いで誕生しました。

同賞は、「看護職のWLB推進ワークショップ事業」に参加し、3年間の取り組みを続けた医療施設とそれを支援した各都道府県看護協会の努力と成果を顕彰されるものです。公益社団法人日本看護協会(会長坂本すが、会員69万人)は、働き続けられる職場づくりをめざし、2010年より都道府県看護協会と協働して「看護職のWLB推進事業」を開始し、当院も2012年から参加しました。

特定機能病院の役割を果たし、地域の中核病院として県民に安心な医療の提供、各々の職員が年代および生活、キャリア形成に合わせて働きがいがあり、看護の専門性を発揮できる職場づくりをビジョンに掲げました。そして、①パートナーシップ・ナーシング・システム(PNS®)の推進、②労働環境の改善、③看護管理者に対する労務管理教育、④キャリア支援システム活用による看護職のキャリア支援、⑤キャリアパスおよび自己啓発に関する支援システムの構築の5つのアクションプランに取り組みました。PNS®看護提供方式に取り組んで2年目となり、今年度はPNS®の検証と拡充を看護部の目標とし、看護実践の可視化と看護の伝承による人材育成に取り組んでいきます。総務課と連携を図り看護師長へ労務管理の講義や、2012年からWLB支援室と協賛し「WLB週間」を定め、啓発ポスターやWLBの川柳募集を募集し優秀作品は病院長賞、副病院長賞が授与されました。

看護職のWLB推進ワークショップ事業は終了しましたが、今後も他職種との連携を図りながら、職員のWLB(仕事と生活の調和)実現をめざしたいと思います。

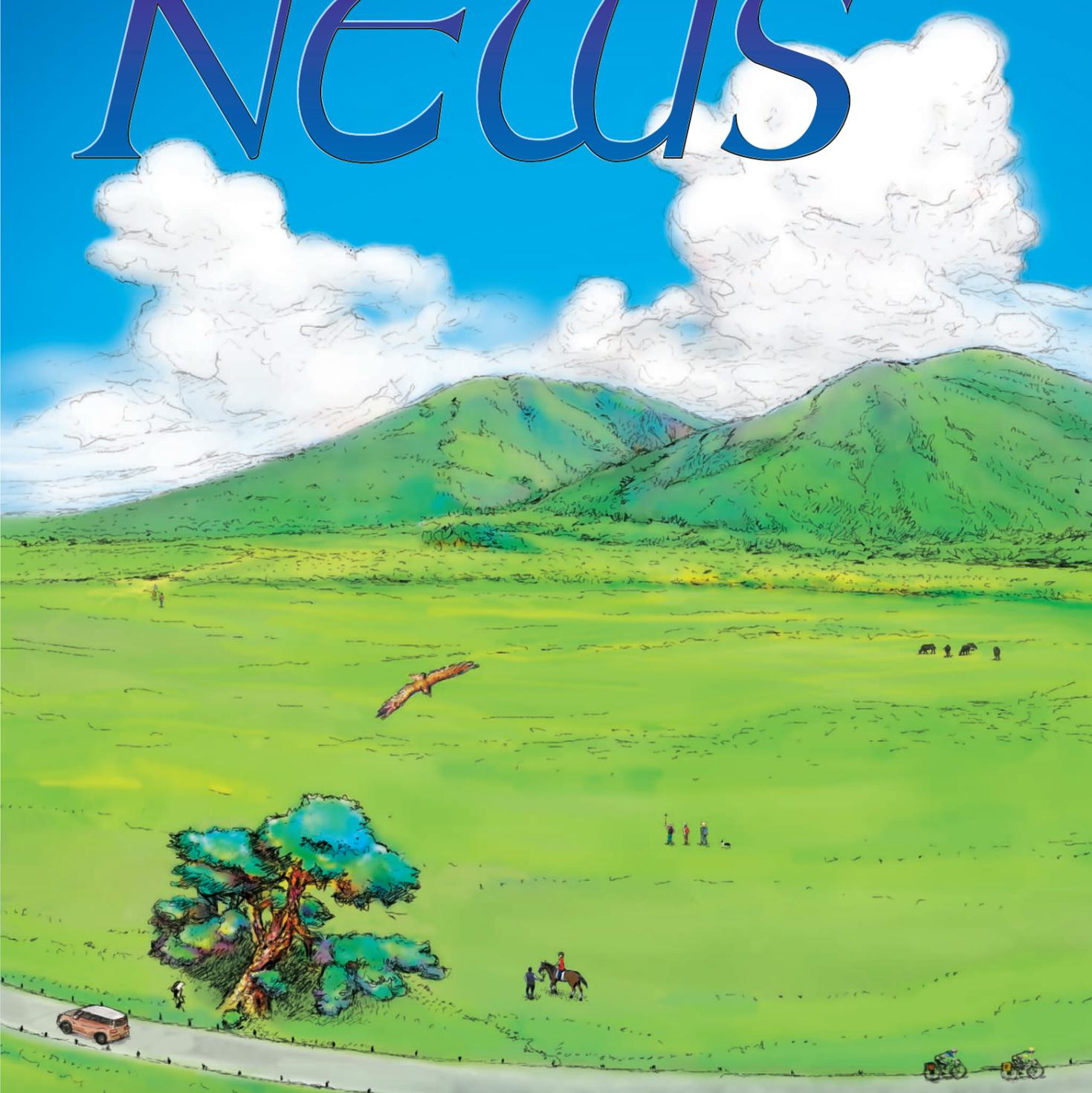


## 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者	主催者
8月15日~9月14日		対象者: <b>一般</b> 一般市民 <b>医療</b> 医療関係者 <b>本学</b> 本学教職員・学生			
8/21(日)	13:00~16:00	神在りの園がんメディカルカフェ*予約制	みらい棟4階ギャラクシー	<b>一般</b>	がんプロイソシオナル養成 基盤推進プロジェクト事務局
8/27(土)	17:45~19:00	第18回出雲リハビリテーション研修会 「スポーツ指導現場の視点からみたスポーツ 傷害のリハビリテーションの考え方」	★出雲市医師会館	<b>医療</b> <b>本学</b>	リハビリテーション科
9/1(木)	19:00~	第17回島根整形外科学スポーツ医学フォーラム 「膝スポーツ障害の診断と治療」	★ニューウェルシティ出雲	<b>医療</b> <b>本学</b>	整形外科学講座
9/4(日)	13:30~15:30	第6回市民公開講座 慢性腎臓病(CKD)対策	★出雲市民会館301会議室	<b>一般</b>	腎臓内科

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。

# NEWS



## CONTENTS

- ・ 難病総合治療センターを設置します
- ・ 子宮頸癌のロボット手術が先進医療に認定されました
- ・ 「看護職のワーク・ライフ・バランス推進カンゴサウルス賞」を受賞しました
- ・ 島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

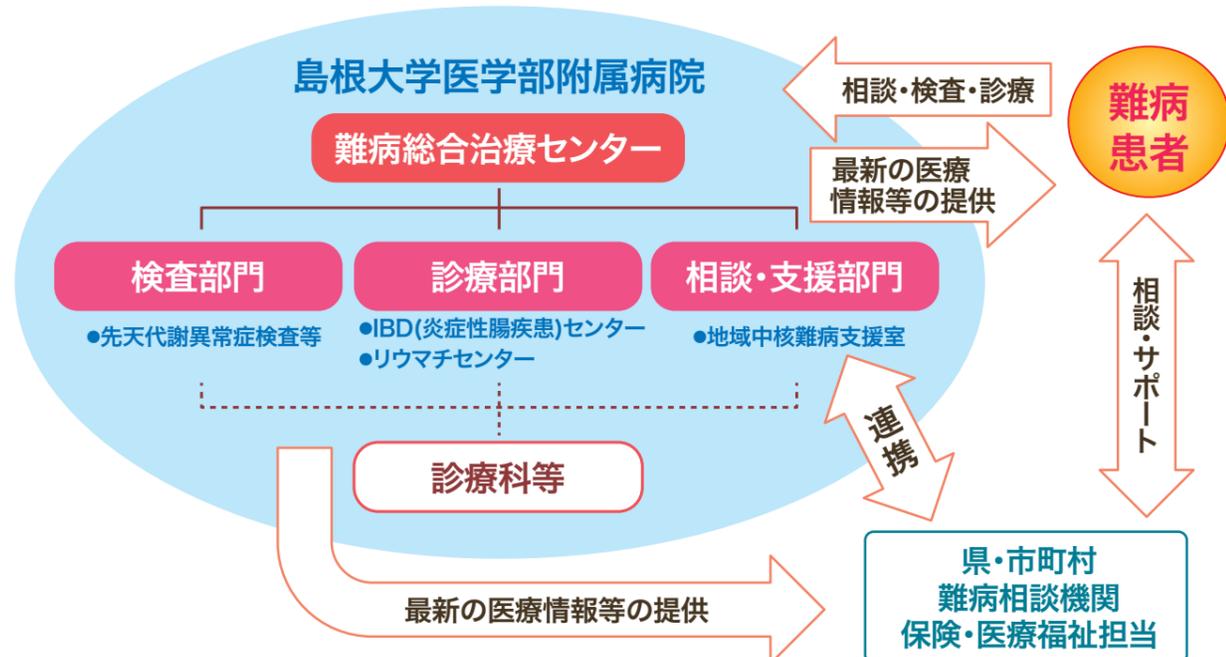
# 難病総合治療センターを設置します

病院長 いがわ みきお 井川 幹夫

難病はご存知の通り、発病のメカニズムが明らかでなく、治療方法が確立していない希少な疾病で、かつ、長期の療養を必要とするものです。医療費助成の対象となる指定難病の要件は、患者数が一定の人数に達していないこと(人口の0.1%程度以下)、客観的な診断基準が確立していることとされています。県内の難病患者数は5,706人(2013年度末医療受給者証数)で、当院で治療を受けている難病患者数は1,100人以上です。関連する法律の成立・施行に伴い、難病の対象疾病が拡大し、2015年には指定難病が306疾病、小児慢性特定疾病は、14疾患群、704疾病がその対象として認定され、今年度は9疾病が難病指定される見込みです。

国の方針としては、指定難病の診療を行う拠点施設を設置する方向にあるようですので、当院もこれに対応する必要がありますと考え、難病・小児慢性特定疾病を総合的に治療するセンター組織を当院に設置することにいたしました(図)。難病のうち、潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患(Inflammatory Bowel Disease、IBD)の患者数は急速に増加しています。増加するIBDに対して様々な新規治療法が開発され、消化器内科医を中心に多くの職種が診療に関与して、質の高い専門的な診療を提供するため、当院にIBDセンターを2015年12月に設置し、以後多くの患者さんの治療を行っています。また、これまで小児科で先天代謝異常症、特に有機酸、脂肪代謝異常のスクリーニングを実施してきた実績もあり、検査部門としてセンター組織に組み込みます。当院は既述の体制整備を行い、県内全域の難病患者さんを対象として最新の医療と情報を提供し、症状軽減、QOLの向上を目指して、大学病院としての役割を果たします。地域の医療機関の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

## ■ 島根大学医学部附属病院難病総合治療センター



## 先進医療への取り組み Advanced medical Initiatives

# 子宮頸癌のロボット手術が先進医療に認定されました

産科・婦人科 診療科長 きょう さとる 京 哲

当院では2015年7月より子宮頸癌(けいがん)に対するロボット(ダ・ヴィンチ)手術を臨床研究として開始していましたが、このたび厚生労働省が定める先進医療に認定されました。2016年7月の時点では、東京医科大学、京都大学、島根大学の各附属病院が認定施設となっております。

先進医療の手術費用は自己負担となりますが、それ以外の診療にかかる費用(入院費や検査、投薬など)は健康保険の対象となります。従来は全て自費診療で行われていたため患者さんの自己負担が大幅に減り、また先進医療特約のついた保険に入られている患者さんは手術費用もカバーされ、さらに負担が減ります。

ロボット手術の最大の利点は、腹腔鏡手術に比べ、より精密な操作が骨盤底の深いところでも可能となることです。これにより手術の根治性が高まり、出血量もさらに減少することが期待されます。開腹では500-1000ccの出血量が一般的な子宮頸癌手術において、ロボット手術では100cc以下で完遂することが可能となりました。

当院では腹腔鏡下の子宮頸癌手術に関しても先進医療認定施設となっており、ロボット手術と腹腔鏡下手術の双方で先進医療を取得している我が国唯一の施設であります。この利点を最大限に生かし、早期癌では腹腔鏡を、子宮外浸潤のある操作性の困難な症例にはロボット手術を、と使い分ける方向性を提唱してゆきたいと考えております。

当院では今後も患者さん目線で、からだにやさしい子宮癌治療を推進してゆく所存です。低侵襲子宮頸癌手術を希望される患者さんがおられましたらご紹介をいただければ幸いです。





島大病院ニュース 2016年8月

# お知らせ

## 周産期母子医療センターが リニューアルオープンしました

周産期母子医療センター センター長 かなさき はるひこ  
金崎 春彦

本年4月から医学部附属病院内に「周産期母子医療センター」を設置し、妊娠合併症や胎児異常などのリスクの高い妊婦、低出生体重児や病気や異常を持つ新生児を出生前から分娩・治療に至るまで集学的に管理する体制を整えています。8月からは現在C病棟6階にある新生児集中治療室(NICU)、新生児回復治療室(GCU)を附属病院3階分娩室隣に移転し、分娩室及びNICU6床、GCU6床が一体となった病床としてセンター機能を強化いたしました。正常分娩の管理、無痛分娩の他、妊婦母体急変時15分以内の娩出を目指す超緊急帝王切開への対応が可能であり、母体や胎児・新生児に生じる突発的な事態に24時間体制で対応致します。また新生児搬送の受け入れも常時行っています。当院は新生児に対する外科的治療が可能な県内唯一の施設であり、将来的には更なる増床を予定しております。実績と実力ある小児科、小児外科、小児心臓外科と連携してハイリスク妊婦に対応し、高度な周産期医療を島根県内で完結させる機能を整備しております。



問合せ先 **周産期母子医療センター** (NICU) TEL: 0853-20-2129  
(GCU) TEL: 0853-20-2607



お知らせ  
島大病院ニュース

平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2016年8月

# お知らせ

## 全病棟への 薬剤師の配置と病棟薬剤業務について

薬剤部 部長 なおら こうじ  
直良 浩司

病棟薬剤業務は、病棟に専任薬剤師を配置して医薬品の安全管理、適正使用に関する業務を実施することにより、入院患者さんへ安全で質の高い薬物療法の提供を図るものです。平成24年の診療報酬改定により、この業務が「病棟薬剤業務実施加算」として評価されました。また、今年度の改定では、これまでの「加算1」に加えて特定集中治療室管理料等の算定病棟を対象とした「加算2」も新設されています。

当院薬剤部では、全病棟への薬剤師の配置を進め、昨年10月より病棟薬剤業務実施加算の算定を開始しました。薬剤師の退職等により、一旦、届出を取り下げましたが、このたび、人員も確保でき、本年8月より算定を再開することとしました。

具体的な病棟薬剤業務の内容としては、①入院患者さんへの医薬品処方状況の把握、②使用医薬品に関する医薬品安全性情報等の把握と周知、③入院時持参薬の確認と服薬計画の提案、④処方された医薬品の薬物相互作用や投与量等の確認・計算、⑤患者さんへの投与前の説明などが挙げられます。加えて、薬剤師が病棟に常駐することで、退院予定の把握が容易になり、退院時の患者指導やお薬手帳を活用した薬剤情報提供などを充実させることができます。これらの業務を通じて、地域の医療機関や保険薬局などとの連携もこれまで以上に強化され、患者さんにとって安心な医療の提供につながると考えています。



写真:ICUにおける病棟薬剤業務



お知らせ  
島大病院ニュース

平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2016年8月

# ご報告

## 不整脈に対するアブレーションの実績報告

循環器内科 診療科長 たなべ かずあき  
田邊 一明

当科では今年度より3Dマッピングシステムを導入し、心房細動も含めた頻脈性不整脈に対するカテーテル治療を本格的に開始しております。

4月以降、現時点で10症例(心房細動 4例、心房粗動 1例、発作性上室性頻拍 4例、その他 1例)を数えています。

●入院のスケジュールは下表のようになります。発作性上室性頻拍の場合は金曜日の治療も可能です。

スケジュール					
	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
心房細動	入院 採血、心電図、 心エコーなど	経食道心エコー、 心臓造影CT	カテーテル治療	採血など	退院
心房粗動	入院 採血、心電図、 心エコーなど	経食道心エコー	カテーテル治療	採血など、退院	
発作性上室性頻拍		入院 採血、心電図、 心エコーなど	カテーテル治療	採血など、退院	

基本的にまず火曜日の外来(毎月第一火曜日は休診)を受診して頂き、治療の適応判断、患者さんの希望確認をします。適応があれば、次の外来で希望を再確認し、入院予定を組ませて頂きます。

不整脈でお困りの患者さんがおられましたら、是非ご紹介頂ければ幸いです。また紹介に悩まれる様な場合も、電話での相談を受けさせていただきますので遠慮なくご相談ください。

医局員一同、島根県の循環器診療に貢献できるよう尽力する所存でございますので、今後とも当科の診療にご支援賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

ホットライン TEL:070-5672-8109

問合せ先 循環器内科(医局) TEL:0853-20-2206



お知らせ  
島大病院ニュース

平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2016年8月

# お知らせ

9月がん征圧月間イベント

## がん治療とともに あなたのくらしを支えるヒント



日時 9月 1日 木 12:00 ~ 15:00 (予定)

場所 島根大学病院 1階玄関ホール、看護外来付近

「口の中が痛い」「食べやすい食事ってないの?」「指先がしびれてね」「爪が割れちゃった」「仕事のことが気がり」「治療のお金心配」「ウィッグっていつ頃準備すればいいの?」「他の患者さんはどうしているの?」などなど、がん治療中の患者さん・ご家族は、様々な不安や気かりを持たれています。そんな「不安や気かりが少なくなるように」と願いをこめて医師・看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士・歯科衛生士・ハローワーク・ピアサポーター・がん相談員の企画によるがん征圧月間イベントを開催致します。がん患者さん・ご家族、興味のある方は是非ご参加ください。

イベント内容

- ・ミニセミナー「がん治療」「がん看護外来」「お口の病気」「がんとお金」
- ・展示コーナー
- ・がんとくらしの相談コーナー など

\*詳細が決まりましたら、病院ホームページでお知らせします。

主催 : 島根大学医学部附属病院がんイベント実行委員会  
事務局(問合せ) : 島根大学医学部附属病院がん患者・家族サポートセンター 電話 (0853) 20-2518・2545

お知らせ  
島大病院ニュース

平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# お知らせ

島大病院ニュース 2016年8月



## 病院内「市民ギャラリー」のご案内

当院内に「市民ギャラリー」を開設して、1年が経ちました。  
これまで、概ね3ヶ月毎に展示作品を替え、皆様にご覧いただけてきました。  
今回は、出雲市斐川町在住の高橋俊雄様(64歳)の日本画(染色画)8作品を展示しています。

### 作品タイトル

- 花車(はなぐるま)
- 斜光(しゃこう)
- 千鳥渡河(ちどりとか)
- 鏝文様(つばもんよう)
- 紫空(しこう)
- 朝顔(あさがお)
- 御簾(みす)
- 扇面花図(せんめんかず)

### 作者のご案内

高橋 俊雄(たかはし としお)  
1952(昭27)出雲市河下町生まれ 64歳  
1970(昭45)高校卒業後、京都型染の下絵師方に就職  
1977(昭52)帰郷  
1998(平10)頃から趣味で染色画を描き始める  
2011(平23.11)海辺の多伎図書館にて友人と二人展  
2012(平24.2)平野勲記念館にて作品展  
現在、出雲市斐川町併川に居住



### 染色画について(作者より)

染色画の染色方法には、しぼり染めや藍染めのような「漬け染め」、白生地に直接絵柄を描く「手描き染め」、下絵を描いてそれを型紙に写し型紙の上から染料を刷る「型染め」などがあります。今回展示した作品は「型染め」の下絵を描く技法を用いたもので、ぼかしや白抜き、また古来からの模様の青海波や七宝、網代の小紋を入れた物があります。

日本画の絵の具は岩絵の具に膠(にかわ)を混ぜて描きますが、今は扱いやすいチューブ絵の具があります。また材料の紙は和紙に陶砂(どうさ…膠にみょうばんを混ぜた液体)をひいたものや絹本を用います。

当院市民ギャラリー(B病棟1階渡り廊下)にお立ち寄りいただき、是非実際の作品をご覧ください。  
今後も、市民の皆様から広く絵画や写真等の作品を募集いたします。  
詳細につきましては、当院のホームページ  
<http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/pickup/gallery.html>に記載しておりますので、ご覧ください。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL 0853-20-2019



平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



# お願い

島大病院ニュース 2016年8月

## 初診患者さんをご紹介いただく際には

平素より患者さんをご紹介くださり、誠にありがとうございます。

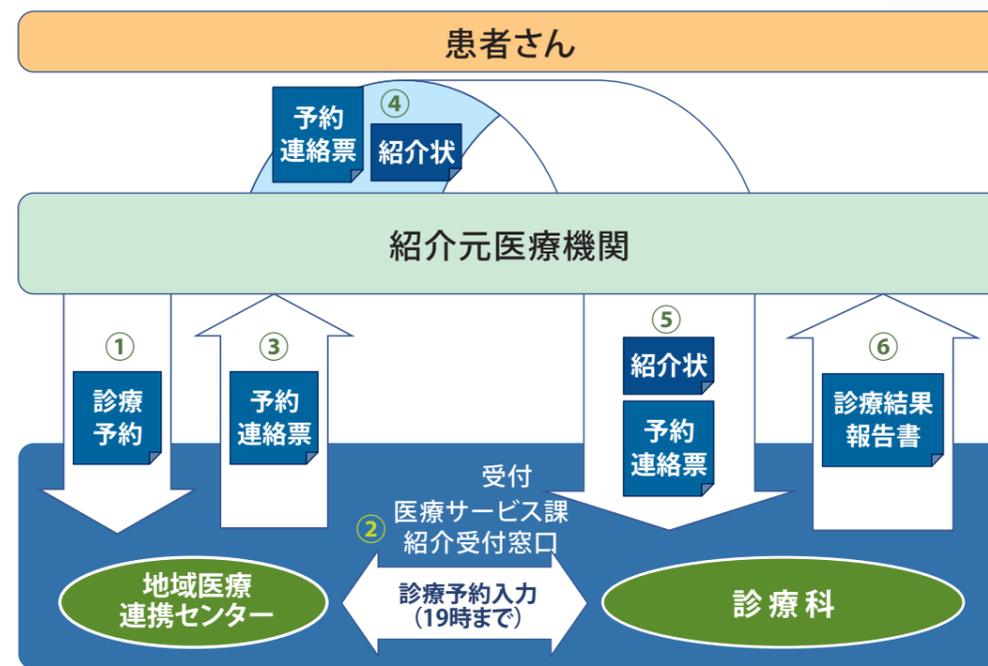
当院へ初診患者さんをご紹介いただく際には、事前に診療予約をお取りいただきますと、患者さんの待時間が短縮できます。

ご予約の際は、今回同封しました外来担当医師一覧表をご参照いただき、診療案内2016の5ページ若しくは当院ホームページの地域医療連携センターのご案内に掲載しております「島根大学医学部附属病院紹介患者予約申込書(FAX)」をご利用のうえFAXにて送信願います。折り返し、予約日時等を記載しました「紹介患者予約連絡表」をFAXでお送りいたします。なお、インターネット予約も可能です。

### ～紹介予約にあたって～

- 予約受付時間 平日 8:30 ~ 19:00(19時以降については翌診療日になります)
- 内容の確認のため、事前に診療情報提供書をFAXで送っていただくようお願いすることがあります。
- 外来担当医師一覧表は、これまで、年一回発行・送付していましたが、担当医師の異動等により変更が生じる場合がありますので、今後は四半期毎にお送りいたします。

### 初診紹介患者予約の流れ



問合せ先 地域医療連携センター TEL: 0853-20-2061 FAX: 0853-20-2063  
ホームページアドレス <http://www.med.shimane-u.ac.jp/RMCC/>



平成28年8月発行  
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会  
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当  
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063  
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





# お知らせ

## 第11回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

# 清田雅智先生を招いて

この度、第11回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

**参加費 無料**  
事前申し込みは不要です。



**みらい棟玄関**  
みらい棟玄関(立体駐車場側)からお入り下さい。  
西門から入られると右手に駐車場があります。

平成28年

**8月20日(土)**

16:30~19:30

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)

### 1. レクチャー

『vertigo:誰も聞いたことがないめまいのするような話』

90分

### 2. 症例検討

90分

※ 8月20日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **3** 単位 です。

**8月21日(日) 9:00~12:00**

### ・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は20日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催:島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人):呼吸器・臨床腫瘍学 教授 磯部 威 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580

